

高齢者の移動支援：走れ「よりそい号」 事後評価報告書

躍動と安らぎの里づくり鍋山

2025年2月28日提出

【資金分配団体】

(幹事団体)公益財団法人南砺幸せ未来基金

(構成団体)公益財団法人東近江三方よし基金・公益財団法人うんなんコミュニティ財団

【事業名】社会的困難者を支えるローカルアクション

【事業の種類】草の根活動支援事業

1 目次

- 2 報告書要約 …… 3ページ
- 3 基本情報 …… ページ
- 4 事業概要 …… 4ページ
- 5 事後評価実施概要 10ページ
- 6 事業の実績 …… 16ページ
- 7 アウトカムの分析 26ページ
- 8 成功要因と課題 46ページ
- 9 結論 …… 47ページ
- 10 提言 …… 48ページ
- 11 知見・教訓 …… 49ページ



2 報告書要約

当事業では、島根県雲南市三刀屋町鍋山地区の65歳以上の移動に困っている地域住民に、鍋山地区内の移動支援「よりそい号」の運行を行った。

目的は、移動の不便さから外出や交流機会が減少し、心身ともに元気がなくなっていく現状を変えていくことで、地域住民がより安心して暮らし躍動的な活動ができるようにするためである。

主な結果としては、令和4年から令和6年の3年間で利用登録者72人、延利用回数1,172回であった(p27)。またアンケート調査の回答では、よりそい号があることで「鍋山地区内の行きたい場所に行きたい場所にいけるようになった」が17人(p32)、「暮らしやすくなった」が16人(p32)、「暮らしの楽しみが増えた」が13人(p38)、また利用者自身の変化として「心が明るくなった」が8人(p38,39)、「体調が良くなった」が3人(p38,39)等があった。

具体エピソードとして、一人暮らしの対象者が家にこもりがちであったが、よりそい号を利用し地域サロンに出かけ旧友との再会をきっかけに、地域サロン以外にもよりそい号を利用して手土産のお菓子を購入後友人宅に出かけるほど元気になられた方がいる。

成功要因のひとつには、既存の繋がり及び個別訪問を丁寧に行い、移動支援に限定しない日頃の少し気になったことや困りごとを、当団体の職員に話すことができる関係性を安心感を持って築くことができていることが挙げられる。

また、当事業で解決したい課題が他事業者にも認識されており、地区内の利用者に紹介いただくことで5人の利用に繋がっている。

その他、本事業を他地区への知見として、市内の全ての自主組織に説明や報告をしたり、3地区でも導入について実証や検討がなされ、少しずつではあるが今後中山間地域の移動支援についての改善がなされる兆しが見えてきている。

雲南市では公共交通の関心度は市長や市議でも高く、4名の市議から一般質問があり、第三次雲南市総合計画案の中にも重点テーマとして「地域の移動・交通システムの再構築」として挙げられている(2025年2月現在)。2025年度に雲南市地域公共交通網形成計画の見直しがあり、2026年度に福祉と連携した移動支援事業の実施に向けて動き出している。



3 基本情報

実行団体名	躍動と安らぎの里づくり鍋山
実行団体事業名	高齢者の移動支援: 走れ「よりそい号」
資金分配団体名	公益財団法人うんなんコミュニティ財団 (幹事団体 公益財団法人南砺幸せ未来基金)
資金分配団体名事業名	社会的困難者を支えるローカルアクション
実施期間	2022年4月1日～2025年2月28日
対象地域	島根県雲南市三刀屋町鍋山地区

4 事業概要(1/2)

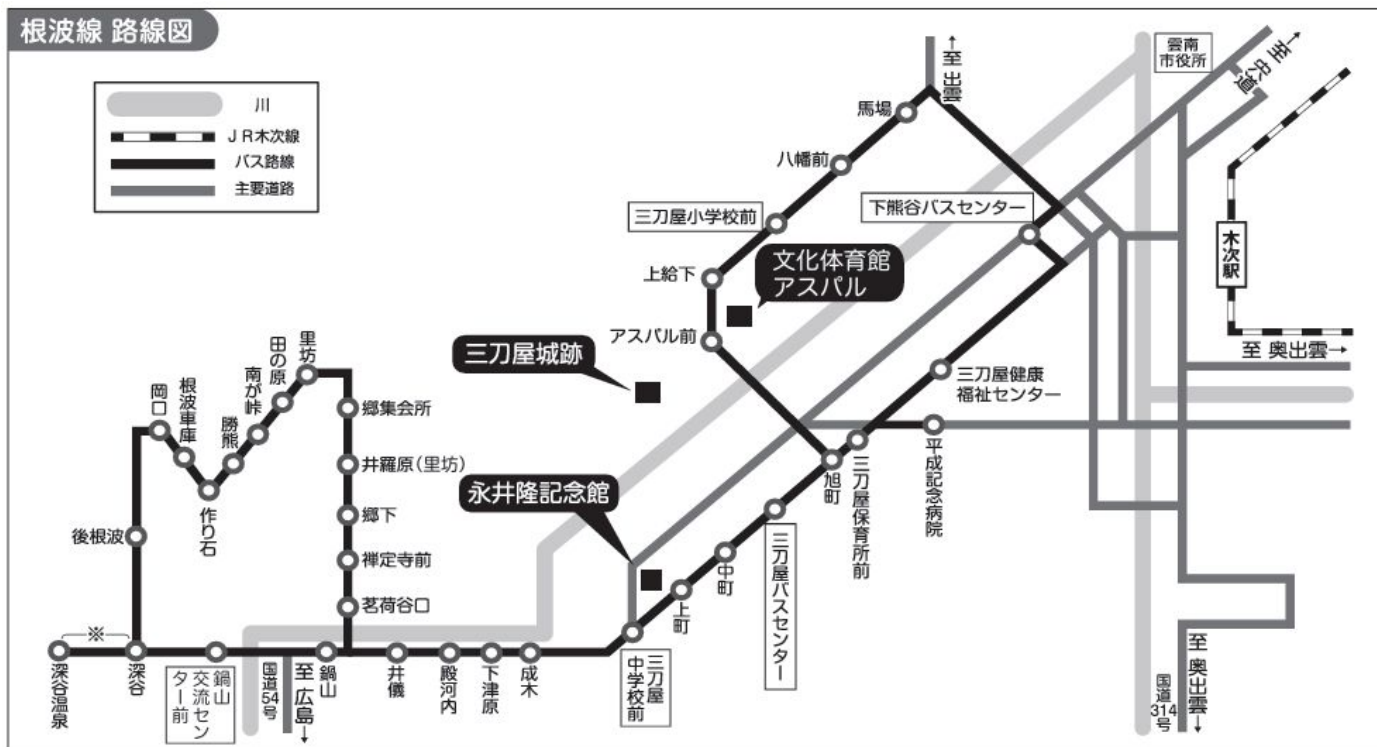
事業によって解決を目指す社会課題	<p>高齢化の免許返納により、行きたい時に行けない出かけられないことにより、家にこもりがちになってしまっている方がいる。そのため、地域住民同士の繋がりが減り、孤立化してしまっている。(7ページ参照)</p> <p>人との繋がりがなくなり人と会うことがなくなることで、人と話すことがなくなり、認知症などの症状が進んでしまう状況になっている。</p> <p>公共交通は時間に制約があり、自由に移動できない。既存のだんだんタクシーは時間と目的地が原則定められているため、イベント参加の時間に合わない。家からバス停までの距離が遠いため、歩いてバス停まで行くことができない。タクシーは運賃が高くて使いづらいなどという声の実態調査を行う中であがってきた。またお試し運行をした中で、グループの中で免許を持っている人といない人がいた場合、免許を持たない方限定にしてしまうとグループ活動が疎外されてしまうという課題が見えてきたため、対象を免許のない方だけに限定してはいけないということがわかった。</p>
最終受益者、直接対象グループとその人数	65歳以上の高齢者約600人、そのうち特に免許のない人100人(推計)
事業概要	時間に縛られずにちょっとした距離の移動からサポートできる柔軟な移動方法として有償運送の計画をたて、移動の不便さから外出困難になる現状を変えていくことで、地域住民がもっと安心して暮らし躍動的な活動ができるように、65歳以上で移動に困っている方に地区内の移動支援を行う。

4 事業概要(2/2)

中長期アウトカム	自主組織会員相互の連携と協働により、地域づくり、地域福祉及び生涯学習を推進し、地区内の諸課題の解決と進展に努め、全ての住民が生き活きと躍動し、安全で安心して生涯暮らせる地域。
短期アウトカム	<ul style="list-style-type: none">● 直接対象者が、地区内の行きたい場所にいつでも行くことができる状態になる。● 直接対象者が移動に関する相談先として躍動鍋山が選択肢の一つになっており、相談ができている状態になる。● 直接対象者の生活の楽しみが増えている状態になる。● 他地区でも有償運送の検討が始まり、新しい仕組みづくりに関する行政の検討が始まっている状態になる。
活動概要	<ul style="list-style-type: none">● 有償運送システムの運営体制が構築のための資格取得、備品購入、システム運用等● 有償運送システム利用方法周知のための広報活動、戸別訪問等● サロン等への参加に本有償運送システムが組み込まれるようにイベント実施、声掛け等● 他地区への情報提供
出口戦略概要	<ol style="list-style-type: none">①月に100件の利用者を見込んで、30,000円の運賃収入が増加するように対象者への声かけ・周知をしていく②事業の効率化を図るために10人体制で運営運行を行う③行政が支える仕組みを提案していく

4 事業概要(社会課題補足)

既存の地区内交通手段	現状	課題等
市民バス 雲南市民バス時刻表 雲南市ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内のバス停 21箇所(下図1参照) ・平日、土曜日運行 ・1日往復3便(鍋山～三刀屋市街地間) ・200円、定期券・回数券販売あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停まで歩けない人は使いにくい ・地区内移動の利用は不便



【図1】雲南市民バス根波線路線図

出典：
 雲南市バス時刻表
 28ページ
[30_zenpezi2024.pdf](#)

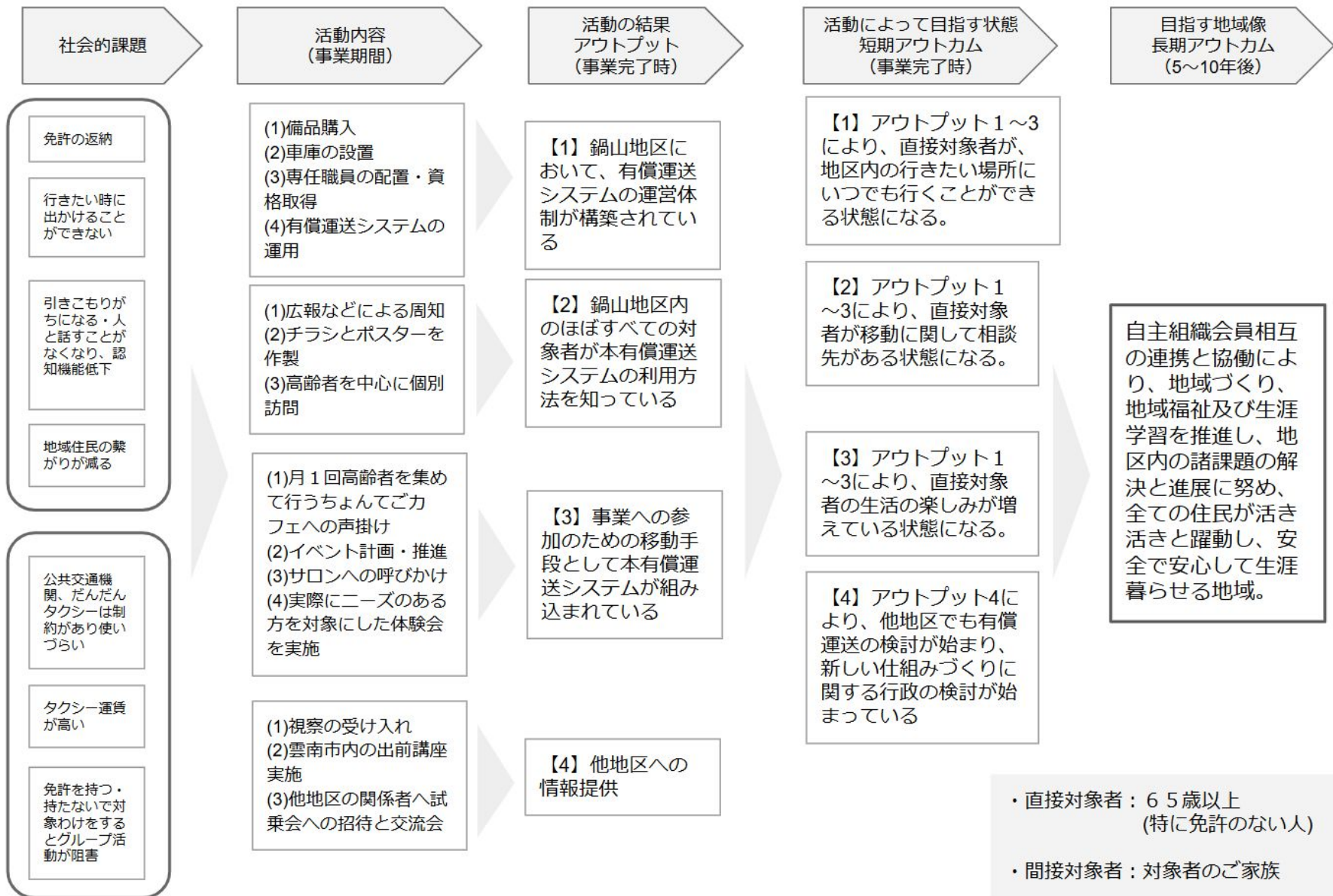
4 事業概要(社会課題補足)

既存の地区内交通手段	現状	課題等
デマンド型乗合タクシー 22dandan-mitoya.pdf	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅前及び指定の場所で乗降 ・地区内停留所3箇所(右図2参照) ・月～金曜日運行 ・1日往復2便(鍋山～三刀屋市街地間) ・出発時間の30分前までに予約 ・1乗車300円 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定場所以外で降車できない ・降車後目的地まで歩けない人は使いにくい
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅前から目的地まで利用できる ・7時から23時まで ・雲南市のタクシー運賃助成あり(免許のない高齢者、障がい者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・鍋山地区では迎車回送料金がかかる ・高額で気軽に利用できない
福祉タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定を受けた人、身体障害者手帳の交付を受けた人が利用できる ・助成券交付あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者ではないと利用できない



【図2】雲南市デマンド型乗合タクシー路線図
 出典:雲南市バス時刻表 39ページ
30_zenpezi2024.pdf

1. 高齢者の移動支援：走れ「よりそい号」（躍動と安らぎの里づくり鍋山）のロジックモデル



5 事後評価実施概要(1/6)

(1)実施概要

①評価の目的

- 当事業により、対象者が移動がしやすくなっているか。
- 当事業により、対象者が行きたい場所に行けるようになっているか。またそれにより、生活の楽しみが増えているか。

②評価結果の活用

- 地域住民に評価結果を伝えることでより認知度を高め、登録者及び利用者を増やし、移動に困難を抱える人の生活の楽しみが増えるようにしたい。
- 行政に評価結果を伝えることで、公共交通計画へ反映し、行政と連携し事業を実施していきたい。

5 事後評価実施概要(2/6)

③評価項目と測定方法

短期アウトカム1	アウトプット1～3により、直接対象者が、 地区内の行きたい場所にいつでも行くことができる状態 になる。
指標	<p>1 アンケートでよりそい号の利用方法を知っている直接対象者の割合(※中間評価時 68.8%)、2 登録者数(※中間評価時53人) 3 利用者の数(延)(※中間評価時37.75件(延))、4 利用目的・行先場所(鍋山事業・バス停含む)の数(※中間評価時10箇所) 5 利用時間(※中間評価時30分/日)</p> <p>【事後評価時追加指標】</p> <p>6 アンケートで、よりそい号を「知っている」と回答する人数、7 アンケートで、よりそい号ができたことで、「鍋山地区内の行きたい場所に行くのを諦めることがなくなった」と回答する人数、8 アンケートで、よりそい号があることで「暮らしやすくなった」と回答する人数、9 アンケートで、よりそい号があることで「外出機会が増えた」と回答する人数</p>

記載項目	定量評価	定性評価
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査 ・利用実績から事実特定 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実績から事実特定 ・利用者の声の分析
調査実施期間	2024年10月から12月	2024年11月～12月
調査対象者	事業対象となった92人にアンケートを実施。回収人数59人(回収率64%)	よりそい号利用登録者39名の声を整理、分析。
調査結果の分析方法	アンケートの集計(別添参照、概要は p27)	発現した事実の背景等についてディスカッションを行った

5 事後評価実施概要(3/6)

③評価項目と測定方法

短期アウトカム2	アウトプット1～3により、直接対象者が移動に関する相談先として躍動鍋山が選択肢の一つになっており、相談ができている状態になる。
指標	1 アンケートで「直接対象者が地区内外の移動について、困った際の相談先として『躍動鍋山』と回答(複数回答可の設問)する」割合、2 問い合わせ数(相談件数)、3 移動手段の解決数

記載項目	定量評価	定性評価
調査方法	・アンケート調査 ・利用実績から事実特定	・利用実績から事実特定 ・利用者の声の分析
調査実施期間	2024年10月から12月	2024年11月～12月
調査対象者	事業対象となった92人にアンケートを実施。回収人数59人(回収率64%)	よりそい号利用登録者 39名の声を整理、分析。
調査結果の分析方法	アンケートの集計(別添参照、概要は p27)	発現した事実の背景等についてディスカッションを行った

5 事後評価実施概要(4/6)

③評価項目と測定方法

短期アウトカム3	アウトプット1～3により、直接対象者の生活の楽しみが増えている状態になる。
指標	1 アンケートで「よりそい号を使ったことにより、楽しみが増えた」と回答をする割合 2 利用者の声が把握できているか 3 躍動鍋山の他事業(ちょんてごカフェ・高齢者サロン等)と連携し移送した件数 4 アンケートで「よりそい号を使ったことにより、自身に変化」があったと回答する人数 【事後評価時追加指標】 5 家族から見て、直接対象者にどのような変化があったか

記載項目	定量評価	定性評価
調査方法	・アンケート調査 ・利用実績から事実特定	・利用実績から事実特定 ・利用者の声の分析
調査実施期間	2024年10月から12月	2024年11月～12月
調査対象者	事業対象となった92人にアンケートを実施。回収人数59人(回収率64%)	よりそい号利用登録者39名の声を整理、分析。
調査結果の分析方法	アンケートの集計(別添参照、概要はp27)	発現した事実の背景等についてディスカッションを行った

5 事後評価実施概要(5/6)

③評価項目と測定方法

短期アウトカム4	アウトプット4により、他地区でも有償運送の検討が始まり、新しい仕組みづくりに関する行政の検討が始まっている状態になる。
指標	1 市役所・移動に課題を感じている地域自主組織15地区で検討が始まっている・話す場ができています 【事後評価時追加指標】 2 有償運送を検討するためのデータが整理できている(運営経費(人件費、有償運送講習費、車輛費、車検代、ガソリン代等)、ニーズ調査のデータなど)
調査方法	指標1 ヒアリング 指標2 実績からの事実特定
調査実施期間	2025年1月から2月
調査対象者	指標1 雲南市、地域自主組織
調査結果の分析方法	ディスカッション

5 事後評価実施概要(6/6)

③評価項目と測定方法

追加アウトカム	休眠事業実施前後の自団体の変化
指標	1 自団体の変化について振り返り、整理ができています

調査方法	自団体での振り返り会
調査実施期間	2024年12月
調査対象者	自団体職員
調査結果の分析方法	ディスカッション

(2)実施体制と時期

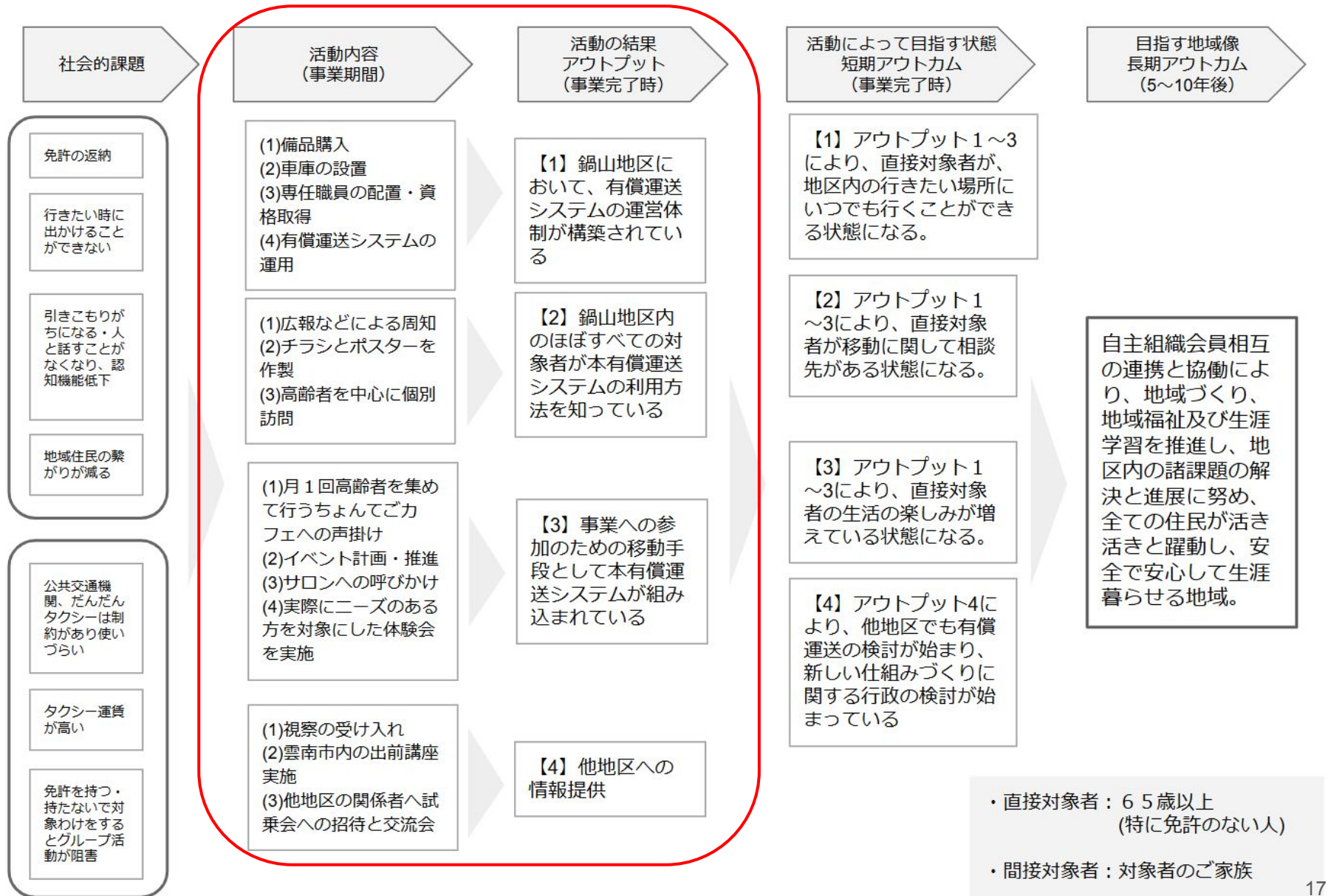
内部／外部	評価担当役割	氏名	団体	時期
内部	評価担当	秦美幸	躍動とやすらぎの里づくり鍋山	2024年11月から 2025年2月まで
内部	評価担当	菅澤邦次	躍動とやすらぎの里づくり鍋山	
内部	評価担当	渡部舞	躍動とやすらぎの里づくり鍋山	
外部	評価支援	石原尚実	(公財)うんなんコミュニティ財団	
外部	評価支援	小俣健三郎	NPO法人おっちラボ	

6 事業の実績

6-1 インプット

総事業費	8,380,000 円	
人材	運転手9名 事務局4名 (休眠事業のみ 他事業合計 7名)	
資機材	軽自動車1台、カーポート	
経費	当初計画	実績
	総事業費 8,380,000 円 直接事業費 8,000,000円 管理的経費 0円 評価関連費 380,000円	総事業費 8,380,000 円 直接事業費 8,000,000円 管理的経費 0円 評価関連費 380,000円
自己資金	当初計画	実績
	400,000円	400,000円 (有償運送利用料、111,000円)
	資金調達で工夫した点	
	対象者に移動サービスを届けるための訪問、広報、試乗会等	

6-2 活動とアウトプット実績



6-2 活動とアウトプット実績

(1) 事業で介入を実施した受益者とその数

65歳以上の高齢者(特に免許のない人): 110人

(2) 主な活動

- 移動支援に関する活動(車輛整備、窓口業務、移動支援、利用者様の声の把握等)
- 広報活動(訪問、チラシ配布、自治会や地域内事業者との連携)

(3) アウトプット実績

アウトプット1	よりそい号の運営体制が構築されている		
	主な活動 車輛及び備品購入、車庫の設置、専任職員の配置・資格取得、有償運送システムの運用		
指標	初期値	目標値	実績値
1 マニュアルができている 2 運転者の資格を取得している人数	1 なし 2 0人	1 マニュアルができている 2 10人	1 マニュアルができている 2 9人

(3)アウトプット実績

アウトプット2	鍋山地区内のほぼすべての対象者が本有償運送システムの利用方法を知っている		
	主な活動: 広報などによる周知、チラシとポスターの作成、高齢者を中心に個別訪問		
指標	初期値	目標値	実績値
1 地区内でのチラシ・ポスターを設置した施設の数	1 0箇所	1 30か所	1 44箇所
2 個別訪問した高齢者等の件数	2 0人	2 60人	2 110人
3 市民バス接続案内の窓口が設置できている	3 窓口なし	3 窓口が設置できている	3 窓口が設置できている

躍動鍋山 交通空白地自家用有償運送
走れ!
「よりそい号」のご案内

こんごご利用いただいていますー

- 深谷温泉 ふかたに荘
- 親戚・友人宅
- 美豆屋 (バーマ屋さん)
- 鍋山駅 郵便局
- 鍋山交流センター (ちよんてこカフェ)

※鍋山地区内のみ

躍動ぜん! 加食田の鍋山太郎ですけど郵便局まで行きたいんですけど…

ありがとうございます。今からお迎えに行きますね!!

帰りもおねがいしたいけど早く終わるから帰ってて〜

お待ちせ。では家までおねがします。

ご利用ありがとうございます。往復の料金になるので600円です!!

後日……………

加食田の躍動花子ですけど名産美豆屋までお願したいです。帰りは歩いて帰るからいいです。

ありがとうございます。片道の料金が300円です!!

躍動鍋山 交通空白地自家用有償運送

走れ!
「よりそい号」ご利用にあたって

運行日・運休日 → 運行日は“平日の午後5時まで”です。
※予約は躍動鍋山事務局までご連絡下さい。

運休日
土・日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

予約方法 → 利用する際には、予約の電話が必要です。
予約時間受付は、平日午前8時半から午後5時までです。
躍動鍋山事務局に電話をして下さい。
0854-45-4241

※片道だけ、または往復のご利用ができます。
※他の利用者の方がいれば、相乗りになります。
※道路状況・積雪によりお断りする場合があります。

料金 → 1回 300円(片道)

注意事項 → ・鍋山地区にお住まいの65歳以上で、車の運転ができない方が対象。
・行き先は鍋山地区内のみです。
・安全運転に心がけますが、万が一、事故が起きた場合には、加入保険の範囲内での対応になります。

〇〇に行きたいけど、行けますか??
など、お気軽に躍動鍋山までお問合せください。



(3)アウトプット実績

アウトプット3	事業への参加のための移動手段として本有償運送システムが組み込まれている。		
	主な活動：月1回高齢者を集めて行うちょんてごカフェへの声掛け、イベント計画・推進、サロンへの呼びかけ、実際にニーズのある方を対象にした体験会を実施		
指標	初期値	目標値	実績値
利用目的・行先を記したキャンペーンや案内数 (ちょんてごカフェ・高齢者サロン・温泉など)	0	10箇所	3箇所：躍動サロン、ちょんてごカフェ、深谷温泉 ※行先は13箇所 1交流センター、2ちょんてごカフェ、3躍動サロン、4郵便局、5深谷温泉、6美容院(2か所)、7友人宅、8バス停、9禅定寺、10大歳神社、11選挙、12お菓子屋、13地域商店

移動に困ったら… 躍動鍋山 交通空白地自家有償運送

?? 走れ! よりそい号

～ご利用方法について～

運行日・運休日
 [運行日] 平日と土・日・祝日の午後5時まで
 [運休日] 年末年始(12/29～1/3)

利用方法
 事前に電話での予約が必要で
 受付時間は平日午前8時半～午後5時
 0854-45-4241(躍動鍋山) または
 090-5818-8689(専用線等)

スタンプカード
 1乗車毎にスタンプ1箇所押します
 スタンプが10箇所集まったら
 1回無料になります!

料金
 1回 300円(片道)
 往復乗車の場合は600円

注意事項

- ・鍋山地区にお住まいの65歳以上で、車の運転ができない方が対象
- ・行き先は鍋山地区内のみです
- ・他の利用者の方がいれば、相乗りをさせていただくことがあります
- ・道路状況、積雪、スタッフの配置などによりお断りする場合があります
- ・安全運転に心がけますが、万が一、事故が発生した場合は、加入保険の範囲内での対応になります
- ・土日祝日のご利用は必ず平日に事前予約をお願いします

郵便局 深谷温泉 お寺・神社 農家のバス停

美容院 交流センター 友人宅

躍動と安らぎの里づくり鍋山 ☎0854-45-4241

65歳以上もしくは車の運転ができない方へ

よりそい号 期間限定

コラボ 特別企画

深谷温泉ふかたに荘

6名以上の団体さま限定!!

よりそい号を使って深谷温泉ふかたに荘をご利用の方に…

- ①温泉入浴券×2枚
- ②和室使用料 無料

令和7年1月末 までの限定企画です。

お友達同士のお茶会やサロン活動などにぜひ!ご利用下さい。

お申込みは躍動鍋山事務局(45-4241)まで

【具体の声など】

「よりそい号があるからこそ、サロンでみんなとおしゃべりすることができる。ありがたい。」とのお声があった。

交流機会等が地区内であっても交通手段が無いために諦め来ちる状態の人がいるため、今後も地区内のイベント等と連携し事業を実施していく。

(3)アウトプット実績

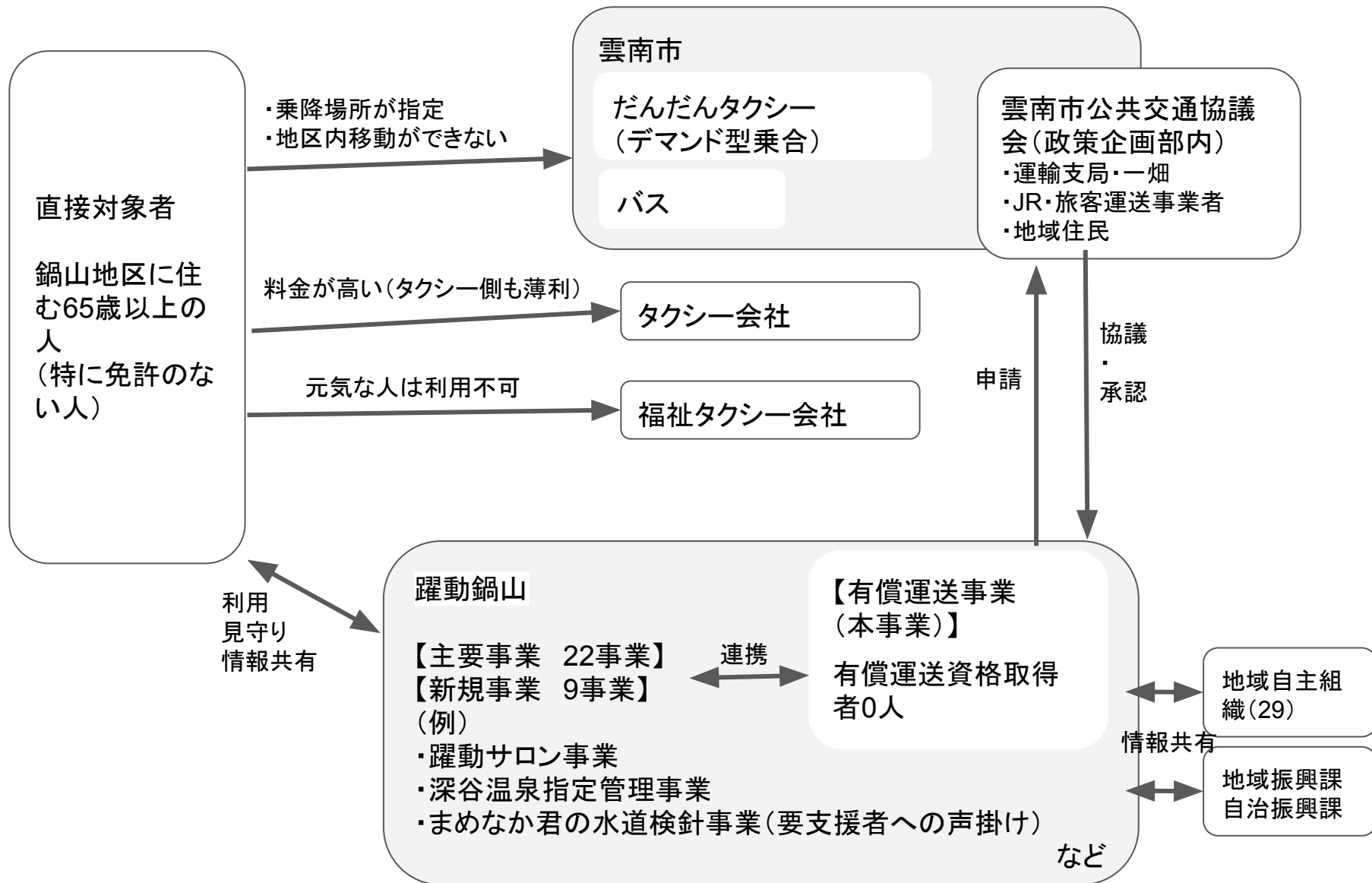
アウトプット4	他地区へ情報提供ができています。		
	主な活動 視察の受け入れ、雲南市内の出前講座実施、他地区の関係者へ試乗会への招待と交流会		
指標	初期値	目標値	実績値
情報提供した地区数	0	30地区	30地区



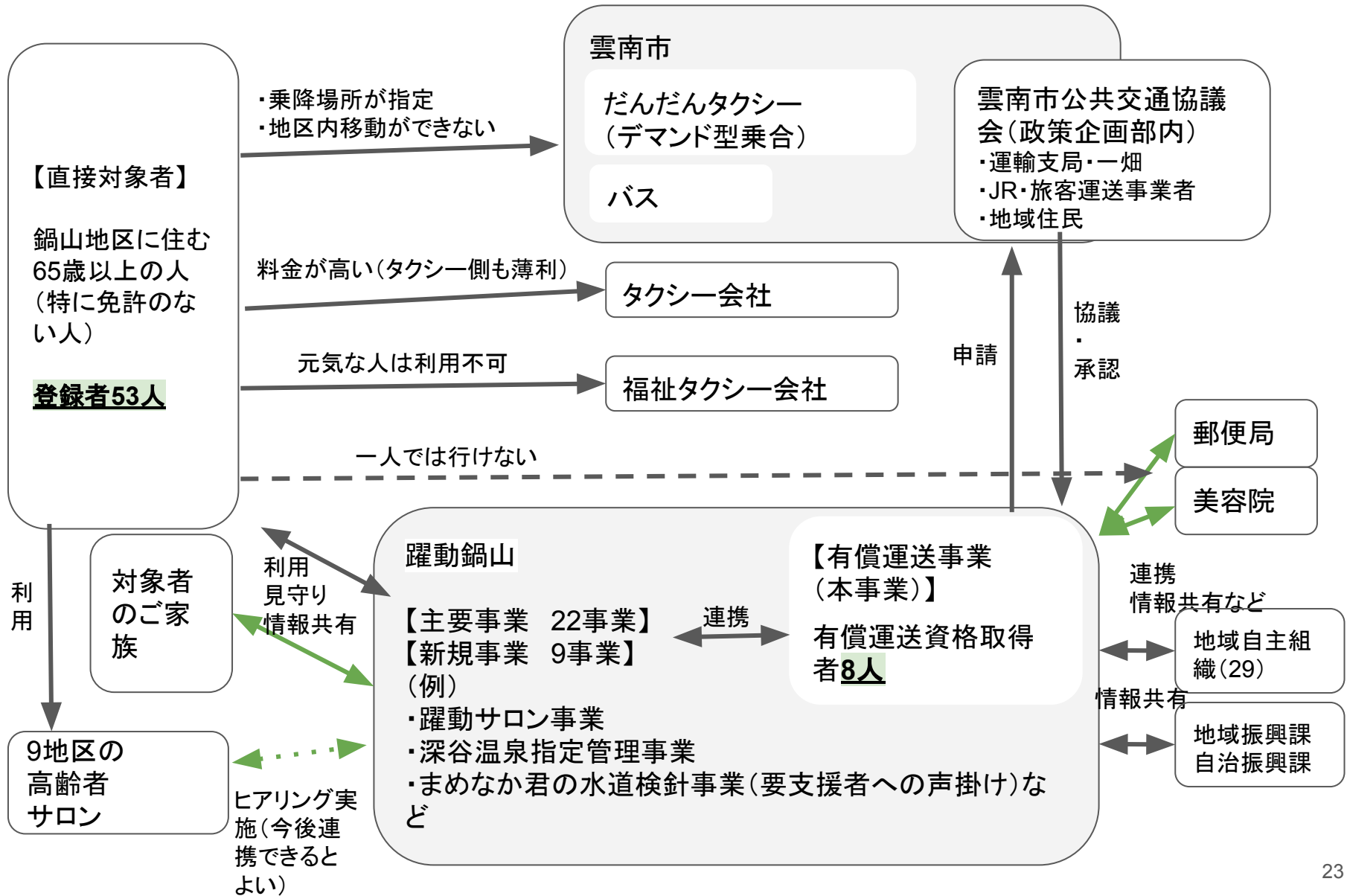
【具体の声など】

市内の地域自主組織では地区内交通に関心のある所は多い。
 どの地域も実施が困難な背景として、資金不足及び人材不足を挙げている。

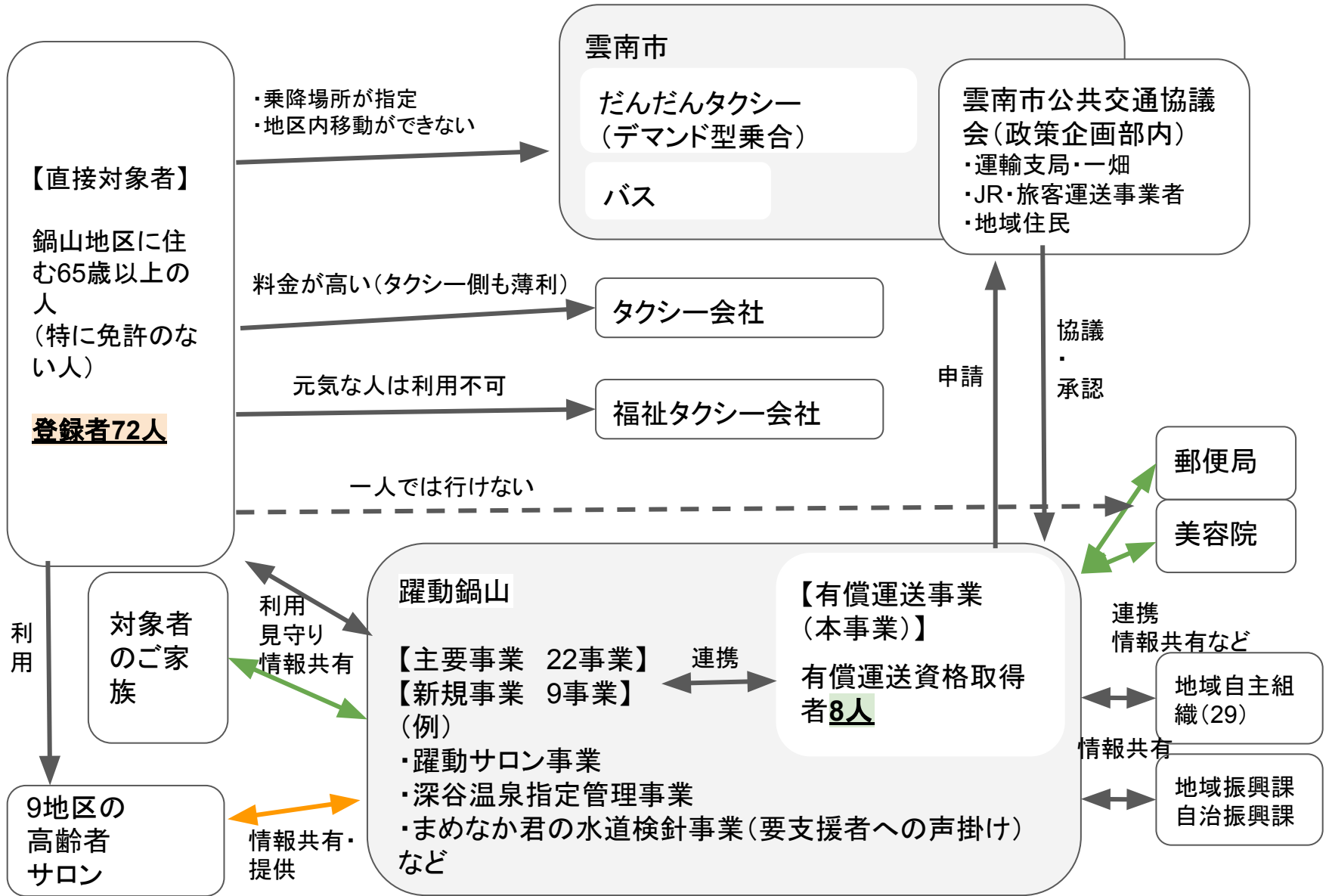
(4) 外部連携の実績について: 事業開始前(2022年3月31日)の相関図



(4)外部連携の実績について:事業中間評価時(2023年10月1日)の相関図



(4)外部連携の実績について:事業後評価時(2025年2月1日)の相関図



(4) 外部連携の実績について

➤ ステークホルダーとの連携や対話について

地区内の事業者(美容院、郵便局等):チラシ設置のお願い、事業説明の実施。事業者も当事業に共感いただき、地区内の利用者に紹介くださった。紹介により5人の利用に繋がった。

地域づくりを担う組織として日頃から地区内の事業者とコミュニケーションをしているなか、本事業の直接対象者の移動の目的地となる事業者との間で、必要十分な連携が取れたといえる。

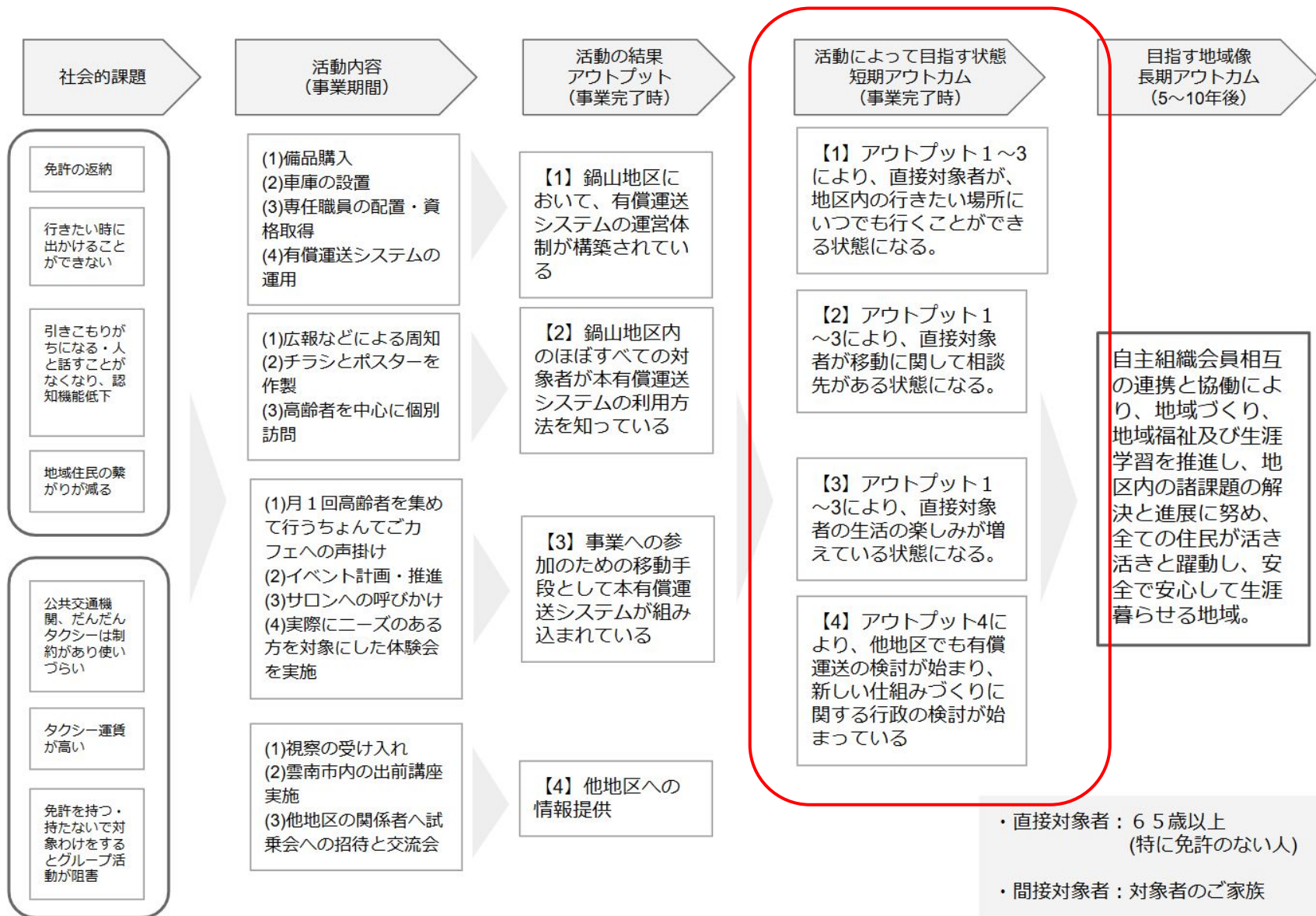
➤ 市民参加、組織内連携について

小規模多機能自治を行う地域自主組織のため、日頃から多様な分野での市民参加がある。特に当事業については、運転手やイベント運営などで参加機会をつくった。また、当組織では高齢者サロンや温泉の管理運営等も実施しており、当組織内での事業間で連携、相乗効果が生まれるように意識して実施した。

➤ 事業に関係する行政等に対し、政策提言や政策提言に向けた取り組みなどをどのように実施したか

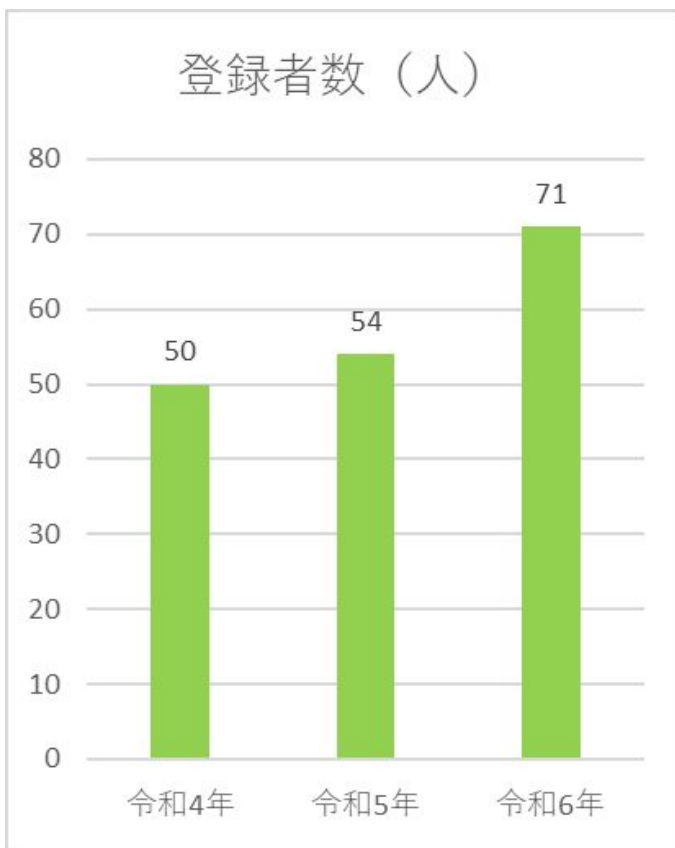
1年に3~4回程度開催される雲南市公共交通協議会への参加、また雲南市交通課との会議を開催した。2026年度より、福祉分野と連携予定。

7 アウトカムの分析

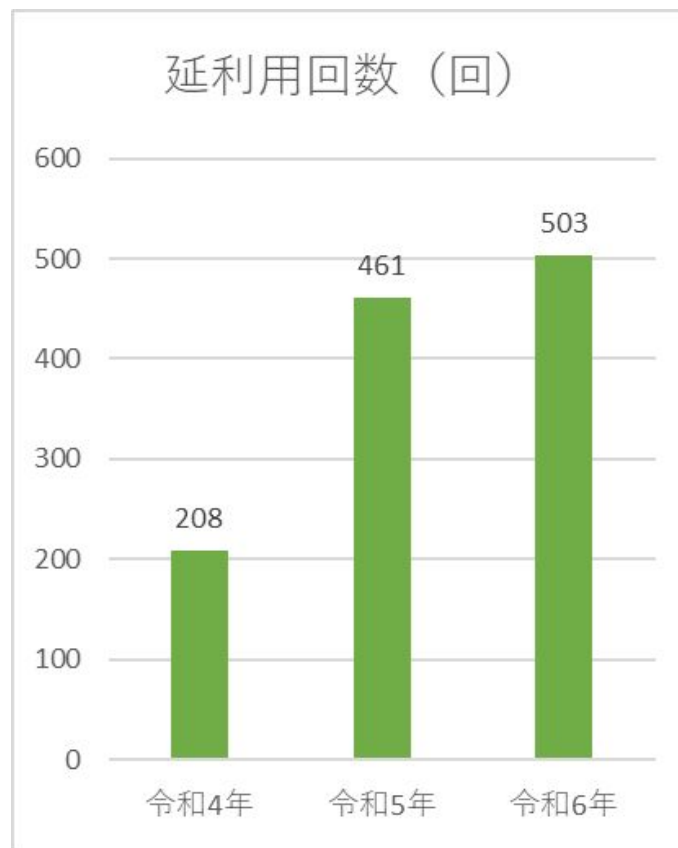


7-1 アウトカムの達成度

よりそい号利用実績①(令和4年1月～令和6年12月末の3年間)



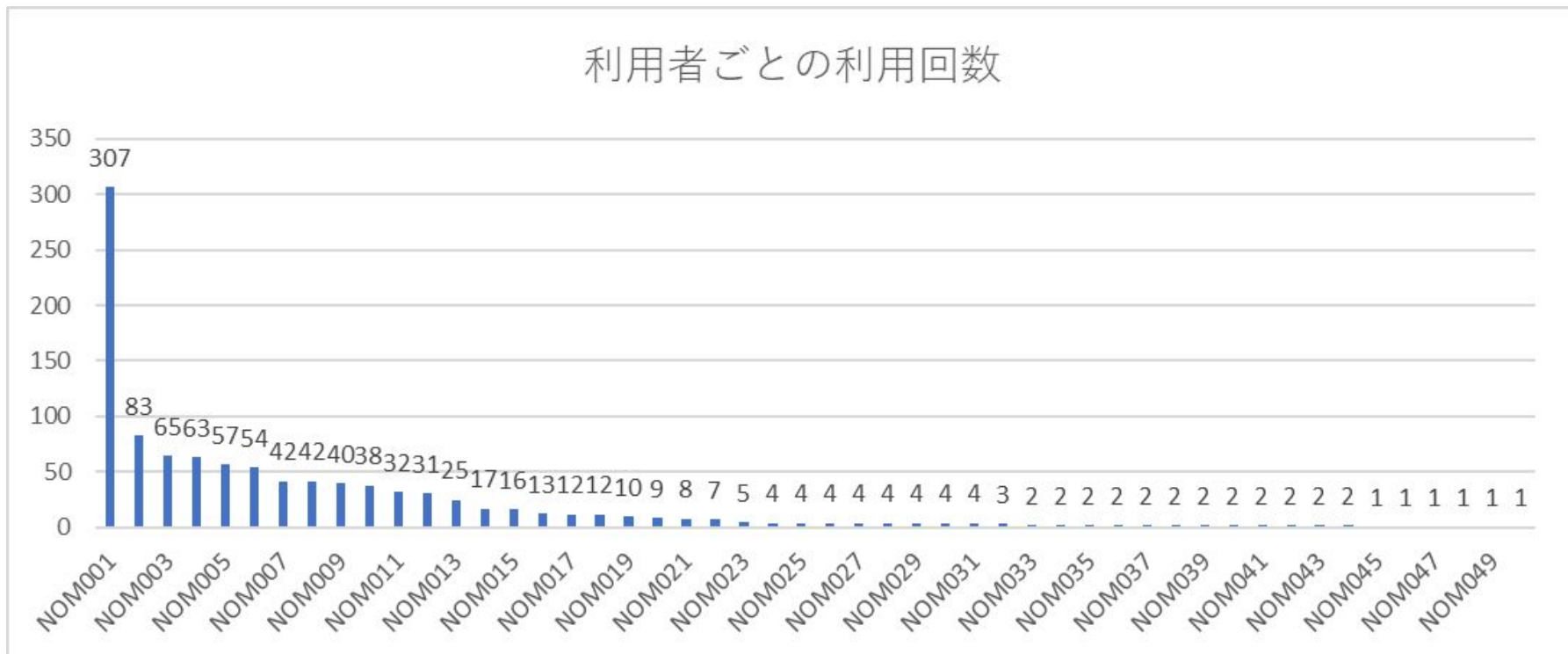
令和7年2月現在、登録者72名



令和7年1月～2月24日までの利用回数: 32回
令和4年～令和7年2月24日までの延利用回数: 1204回

7-1 アウトカムの達成度

よりそい号利用実績②(令和4年1月～令和6年9月12日まで)



平均値:21.06回

中央値:4回

利用者数:50名

7-1 アウトカムの達成度

アンケート概要

調査実施期間	2024年10月から12月
調査対象者	事業対象となった92人にアンケートを実施。回収人数 59人(回収率64%)
設問	<ol style="list-style-type: none">1. 回答者本人の情報2. 鍋山地区内の移動手段の相談先・頼り先について<ul style="list-style-type: none">・鍋山地区内・地区外の移動手段について、普段どなたに相談していますか。(複数選択可)・鍋山地区内の移動・外出について、車を依頼する人やサービスはどこですか。(複数選択可)3. 鍋山地区内の移動手段について<ul style="list-style-type: none">- 今まで、交通手段が理由で鍋山地区内の行きたい場所に行くのを諦めたことがありますか。(選択)<ul style="list-style-type: none">- 「ある」と回答された方はその理由も教えてください。(複数選択可)- 躍動鍋山が運行する地区内移動支援「よりそい号」を知っていますか。<ul style="list-style-type: none">- 「知っている」と回答された方は、その理由も教えてください。(複数選択可)- 地区内移動支援「よりそい号」の利用方法を知っていますか。- 「よりそい号」が運行するようになり、鍋山地区内の行きたい場所に行けるようになりましたか。<ul style="list-style-type: none">- 「行けないときがある」と回答された方は、その理由も教えてください。(複数選択可)- 「よりそい号」が運行するようになり、ご自身の外出の機会が増えましたか。<ul style="list-style-type: none">- 「外出が増えた」と回答された方は、その理由も教えてください。(複数選択可)- 「よりそい号」が運行するようになり、ご自身が暮らしやすくなったと思いますか。<ul style="list-style-type: none">- 「思う」と回答された方はその理由も教えてください。- 「よりそい号」が運行するようになり、ご自身の暮らしの楽しみが増えたと思いますか。<ul style="list-style-type: none">- 「思う」と回答された方は①その楽しみについて教えてください。(複数選択可)- ②楽しみが増えたことで、ご自身にどのような変化があったと思いますか。(複数選択可)- 「よりそい号」が運行していることで、ご自身がこれからも楽しく暮らせそうだと思いますか。(選択)- 「よりそい号」を知らない人がいたら紹介したいと思いますか。(選択)4. 回答者さまのご家族の方へ<ul style="list-style-type: none">- 回答者様との関係- 躍動鍋山が運行する地区内移動支援「よりそい号」を知っていますか。- 回答者さまがよりそい号をご利用されている場合<ul style="list-style-type: none">- 地区内移動支援「よりそい号」ご利用の前後で、ご本人にどんな変化があったと感じますか。- 地区内移動支援「よりそい号」があることで、ご家族として感じていることはありますか。

7-1 アウトカムの達成度

(1) 短期アウトカムの計画と実績

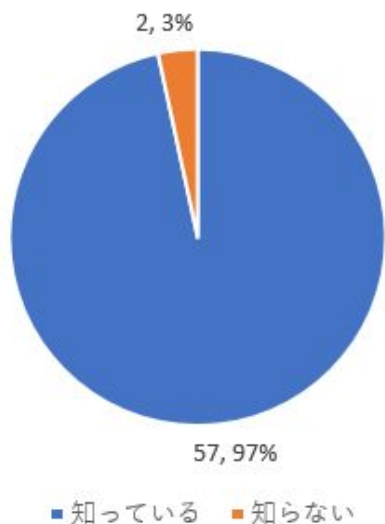
アウトカム1	アウトプット1～3により、直接対象者が、地区内の行きたい場所にいつでも行くことができる状態になる。		
指標	初期値	目標値	アウトカムの発現状況(実績値)
1 アンケートでよりそい号の利用方法を知っている直接対象者の割合 2 登録者数 3 利用者の数(延) 4 利用目的・行先場所(鍋山事業・バス停含む) 5 利用時間	1 初期値0 2 0人 3 0人 4 0箇所 5 0時間	1 90% 2 100人 3 延100人/月 4 10箇所 5 2時間/日	1 90%以上 指標6の「よりそい号を知ったきっかけ」の大部分が実行団体からの発信であるため、「よりそい号を知っている」と回答した方の大部分は「利用方法も知っている」と推測される。 2 登録者72人 ・利用したことがある人数: 57人 そのうち28人がイベントのみで乗車した ・登録のみ15人 3 延68人(2025年2月) 延1172人(3年) 4 13箇所 5 2時間/日 指標設定の背景: 実施体制構築のために必要な情報の把握(他事業とのバランスを見るため) 実態: 1回の稼働で30分～45分程度。郵便局はご利用者の用事が終わるまで待っている。美容院は一回帰る。 結論: 一日2時間なら他事業に支障はない。 ※運行に係っている人件費(50万円/年)

(1)短期アウトカムの計画と実績

アウトカム1	アウトプット1～3により、直接対象者が、地区内の行きたい場所にいつでも行くことができる状態になる。		
指標	初期値	目標値	アウトカムの発現状況(実績値)
6 アンケートで、よりそい号を「知っている」と回答する人数	0	90%	6(追加指標) 57人、97%

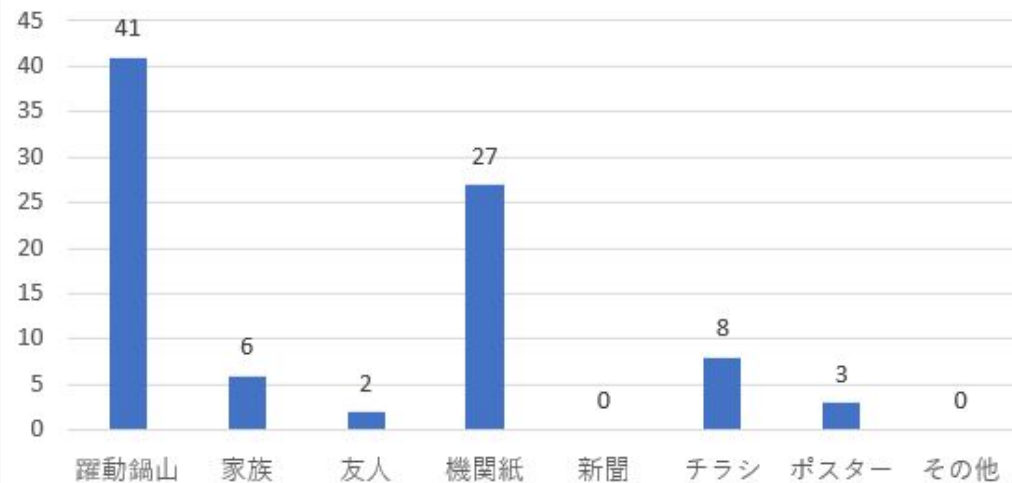
【グラフ1】

よりそい号を知っているか (n=59)



【グラフ2】

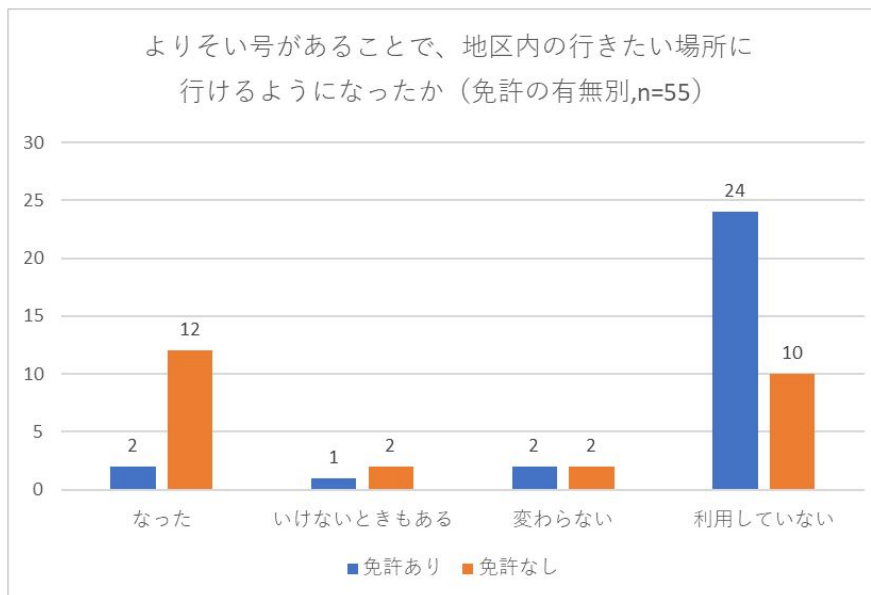
よりそい号を知ったきっかけ
(n=52,複数回答)



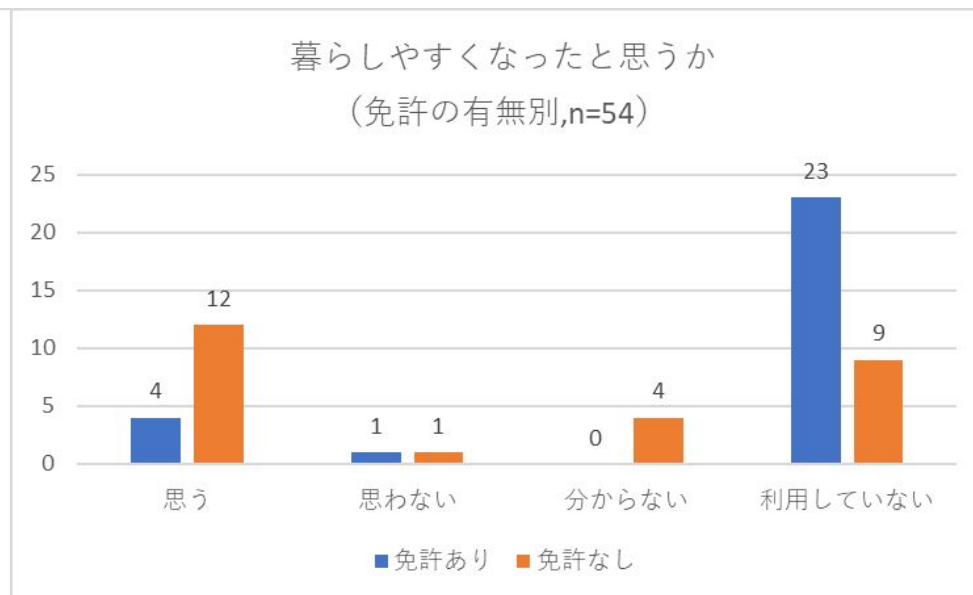
(1) 短期アウトカムの計画と実績

アウトカム1	アウトプット1～3により、直接対象者が、地区内の行きたい場所にいつでも行くことができる状態になる。		
指標	初期値	目標値	アウトカムの発現状況(実績値)
7(追加指標) アンケートで、よりそい号ができたことで、「鍋山地区内の行きたい場所に行きたい場所にいけるようになった」と回答する人数	0	10人	17人(「行けないときもある」も含む)
8(追加指標) アンケートで、よりそい号があることで「暮らしやすくなった」と回答する人数	0	10人	16人

【グラフ3】



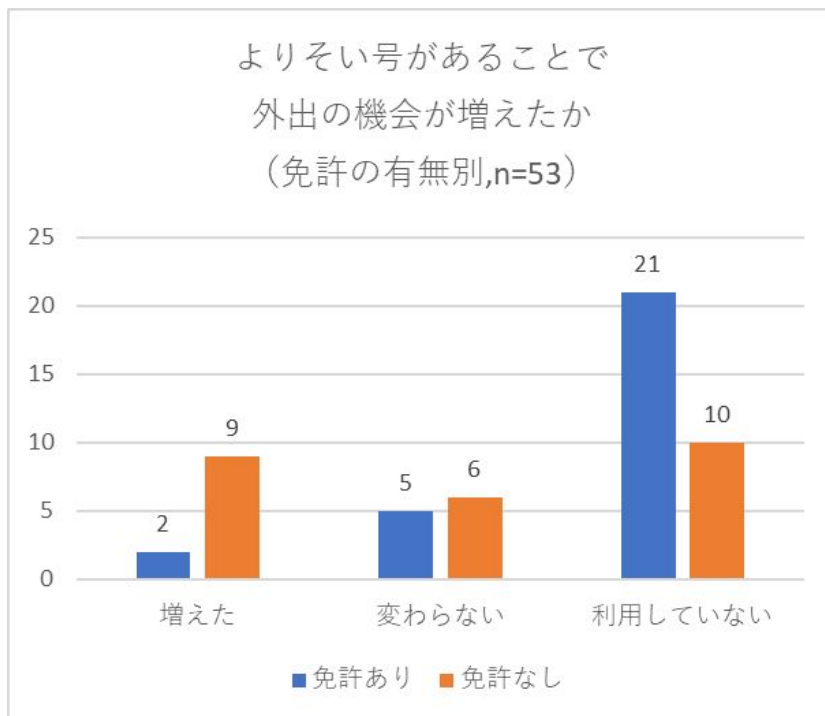
【グラフ4】



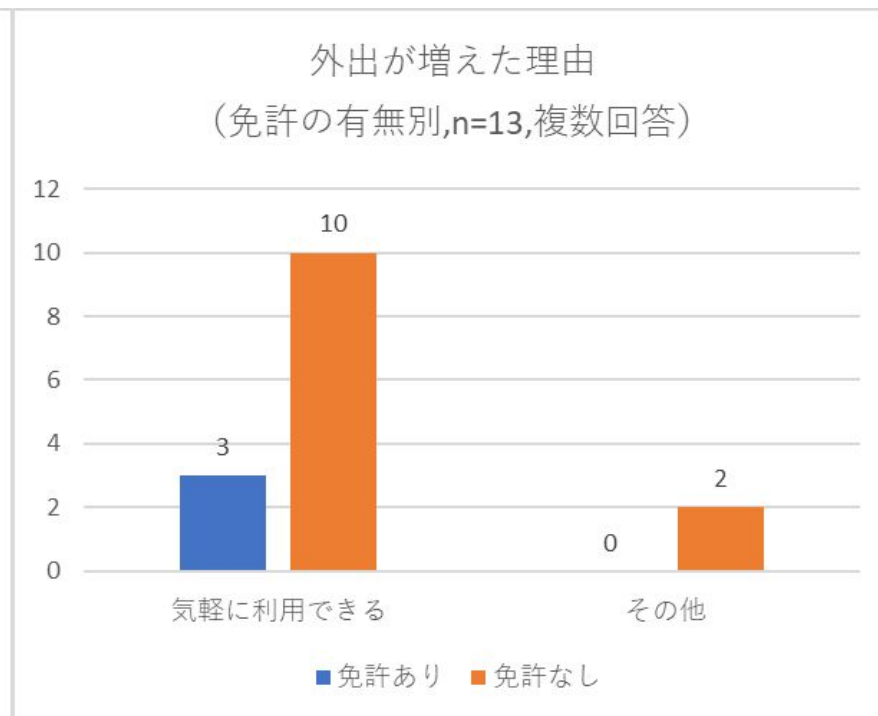
(1) 短期アウトカムの計画と実績

アウトカム1	アウトプット1～3により、直接対象者が、地区内の行きたい場所にいつでも行くことができる状態になる。		
指標	初期値	目標値	アウトカムの発現状況(実績値)
9(追加指標) アンケートで、よりそい号があることで「外出機会が増えた」と回答する人数	0	10人	<p>11人(注: 増えた理由を回答した人は 13人)</p> <p>増えた理由(その他と回答した 2名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎を気兼ねなく頼めるから ・よりそい号を利用したことで違う繋がりが増えたから <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免許返納をきっかけに利用が増えた人がいる

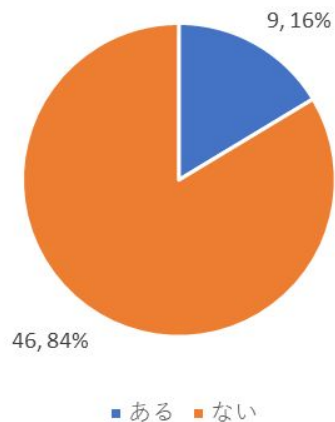
【グラフ5】



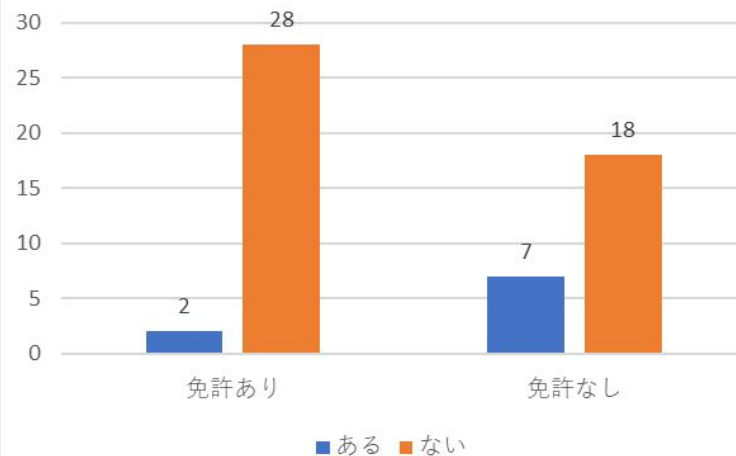
【グラフ6】



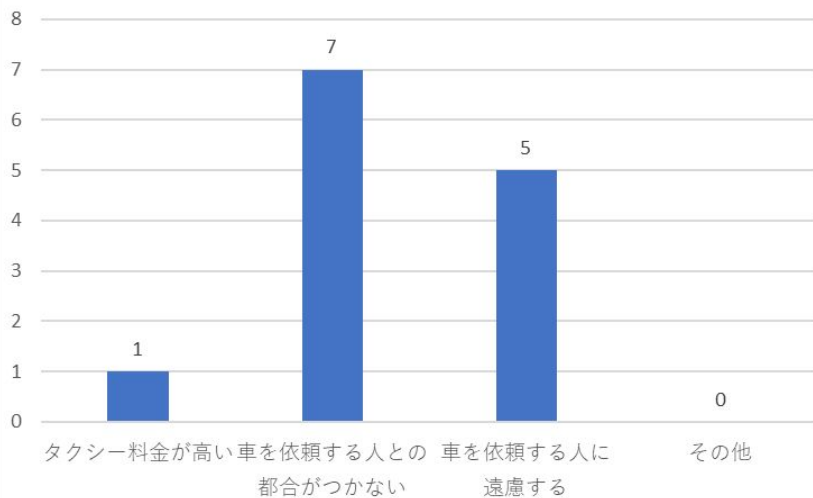
交通手段が理由で鍋山地区内の行きたい場所に行くのを諦めたことがありますか
(n=55)



交通手段が理由で鍋山地区内の行きたい場所に行くのを諦めたことがあるか
(免許の有無別,n=55)



移動を諦めた理由 (n=9,複数回答)



【具体の声など】

- ・普段は自分で運転される方:体調が悪いときによりそい号を利用され助かっている
- ・友人宅や姉妹宅の行き来があった方:移動距離としては近くのため、家族に移動支援の依頼を遠慮していた。よりそい号は気兼ねなく依頼でき、外出のきっかけになっている。

(1)短期アウトカムの計画と実績

【アウトカム1の価値判断】

実績値(定量)は概ね想定以上である。登録者数及び月の延べ利用者数は目標を下回っているが、周知は十分にされていることを踏まえると実績値こそ直接対象者のニーズの実態に近いと考えられ、実行団体が期待したアウトカムが達成されていると評価できる。また、実績値は事業によって引き起こされている。

【アウトカム1の成功要因と課題】

(1)成功要因(なぜ想定以上だったのか)

- 当団体が地域密着で活動してきたことから、住民の具体的な移動ニーズをしっかりと把握できており、ニーズに適した解決方法を提供できていたこと
 - バス停までよりそい号で送迎し、そこから市の中心部まで市民バスを利用するという連携も
- 地域自主組織ならではの住民との関係構築により、よりそい号の利用に安心感を与えられたこと
 - 「職員が親切である(安心する声かけ、待ってくれる)」
 - 「運転手は躍動のMさんだ」という安心感
- 有償サービスだが安価というバランスにより、気軽に利用できたこと
 - 「香典を自分で行けるようになったのが嬉しい」
 - 「(美容院の利用)今まで美容師さんに車を出してもらっており、申し訳ない気持ちがあった」
 - 「家族にも申し訳ない気持ちがあった」
 - 「利用料が安く助かっている。今まで、家の近所の郵便局や美容院まで1500~2000円払って行っていた」
- 地域自主組織としてサロンなどの場を運営しており、よりそい号によってより参加しやすくするという連携
 - 40回以上の利用者は、交流センターで開催されているサロンの利用者で人間関係も密である。
- 移動に寄り添える実行体制があること
 - 運転手の確保:職員が講習を受講

(2)課題:(本事業の対応範囲を超えるが)地区をまたいだ送迎の提供には交通協議会での調整に時間がかかる。

Aさんの場合

- ・美容院で定期的にご利用(月2回)
- ・職員とも馴染みがある
- ・免許なし
- ・足が不自由で長距離を歩くことが難しい

※福祉タクシーは使わない

(福祉タクシーは車いすの方などが使うものというイメージがある。頼むのにはハードルが高い)

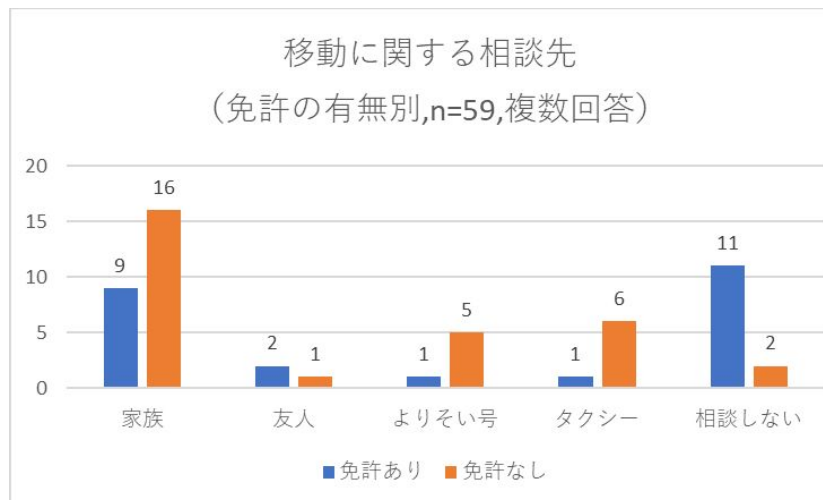
Bさんの場合

- ・主に交流センター事業でご利用
- ・免許返納をきっかけに利用が増加

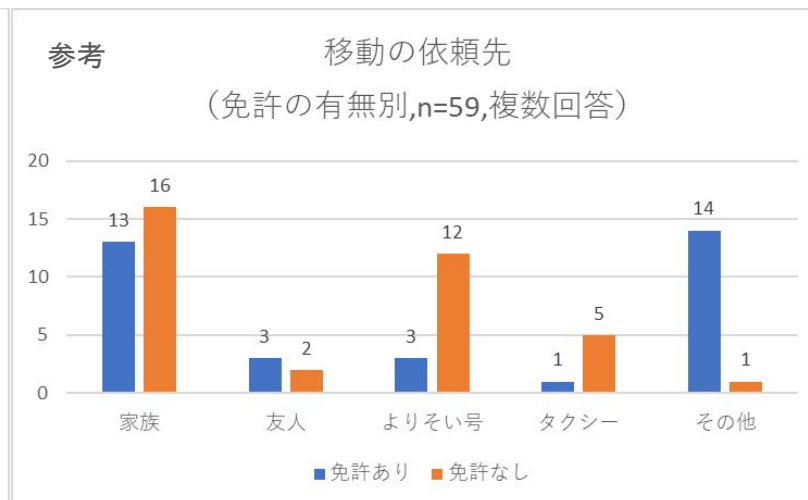
(1) 短期アウトカムの計画と実績

アウトカム2	アウトプット1～3により、直接対象者が移動に関する相談先として躍動鍋山が選択肢の一つになっており、相談ができている状態になる。		
指標	初期値	目標値	アウトカムの発言状況(実績値)
1 アンケートで「直接対象者が地区内外の移動について、困った際の相談先として『躍動鍋山』と回答(複数回答可の設問)する」割合 2 問い合わせ数(相談件数) 3 移動手段の解決数	1 初期値0 2 0件 3 0件	1 70% 2 3件/月 3 1件/月	【指標設定の背景】 相談する人がいない人に「困ったときは躍動鍋山へ」となることを想定して指標を設定した。 1 アンケート回答59人中6人 ・対象者が家族に相談し、家族からの依頼がある【グラフ7,グラフ8】。家族に相談しない人という意味で捉えると約25%が相談先が躍動鍋山である。 2 「問い合わせ＝よりそい号の依頼」になっている ＝よりそい号の認知・利用方法の認知が進んだ (①鍋山地区内の移動②バス停との繋ぎ) 3 年30件(R5年度/バスとの接続数)、月平均2.5件

【グラフ7】



【グラフ8】



(1) 短期アウトカムの計画と実績

【アウトカム2の価値判断】

- ・目標値が高かった
 - 認知が進んだ
 - 想定していたよりも利用が多かった
 - 日頃から相談する関係性がある
- ・相談先の選択肢の一つとして、もっと広がりそうである
- ・行政のだんだんタクシー登録のこと等も躍動鍋山に連絡があることが複数人からあった。困ったときの問い合わせをする先の一つになっている。

【アウトカム2の成功要因】

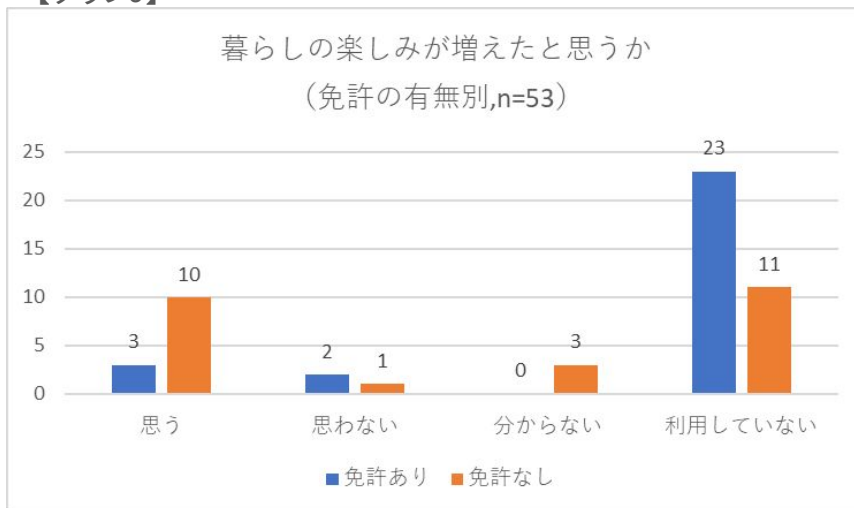
- もともと人が集まる場づくりを実施しており、「利用の目的」が躍動鍋山事業にあること。
- 直接対象者のグループが躍動鍋山で実施しているサロンに参加することで、口コミで広がっている・認知が進んでいる。広報紙の配布等もあるが、対象者が「しっかり読んでいる」ということは少ないのではないか。
(例) 鍋山サロンにおいて、友人に使ってみては、と紹介される方があった
- チラシを置かせてもらっていた地域の事業者(郵便局・美容院)にて、お客さんによりそい号があると自主的にご紹介いただいた



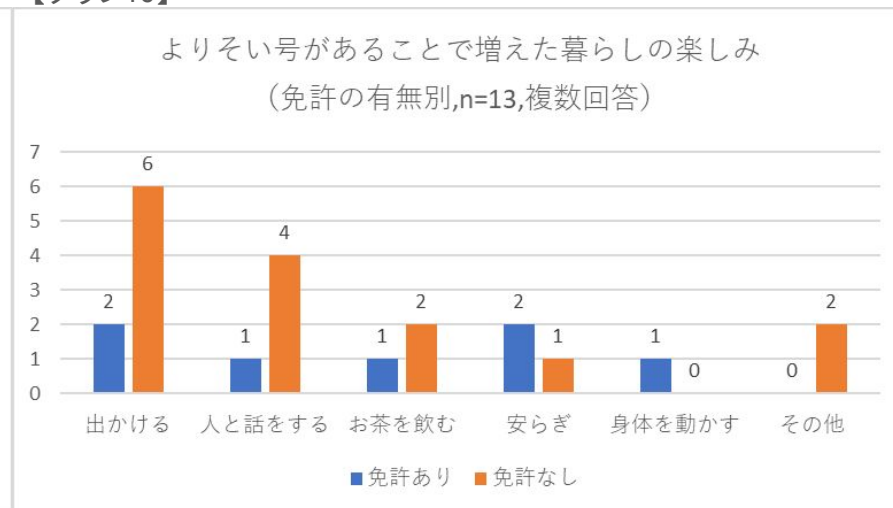
(1) 短期アウトカムの計画と実績

アウトカム3	アウトプット1～3により、直接対象者の生活の楽しみが増えている状態になる。		
指標	初期値	目標値	アウトカムの発言状況(実績値)
1 アンケートでよりそい号を使ったことにより、楽しみが増えたという回答をする割合 2 利用者の声が把握できているか 3 躍動鍋山の他事業(ちょんてごカフェ・高齢者サロン等)と連携し移送した件数 4 アンケートで「よりそい号を使ったことにより、自身に変化」があったと回答する人数 5 家族から見て、直接対象者にどのような変化があったか	1 初期値0 2 つぶやき件数 0件 3 0件	1 30% 2 つぶやき件数 70件/月 3 50件/月 4 10 5 良い変化に繋がっている	1 よりそい号を使ったことがある人のうち、楽しみが増えたと思う人: 13人【グラフ9】 2 利用時把握できている(日報に記載) 3 合計388件(ちょんてご・鍋山サロン・温泉) 4 変化があった: 13人【グラフ11】(その他)もっと出かけたという気持ちになった 5 アンケート調査より <ul style="list-style-type: none"> ・一人で出かける機会が増えた ・安心してお任せできるので助かる ・新しい交通機関を利用する意欲が増えた ・気安くすぐ出かけられる

【グラフ9】



【グラフ10】



(1) 短期アウトカムの計画と実績

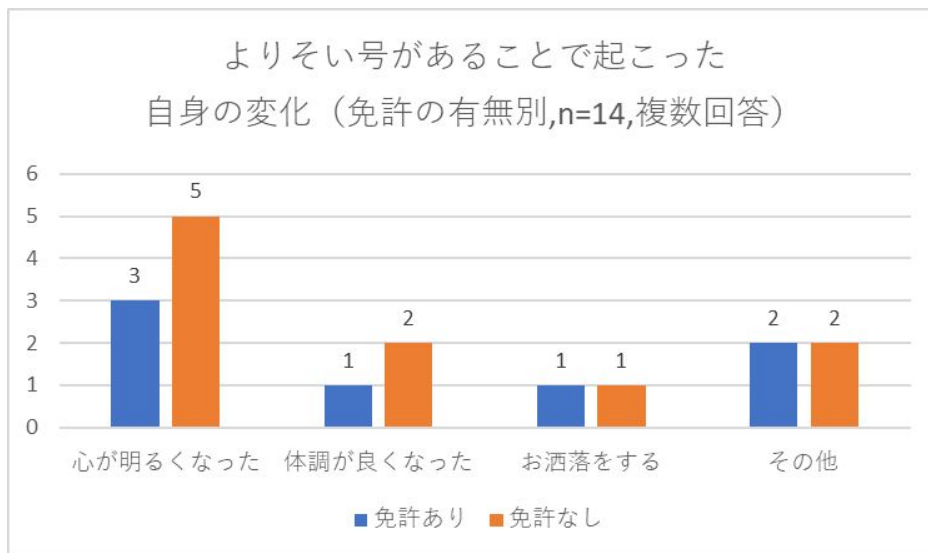
【アウトカム3の価値判断】

- ・社会課題の解決に繋がっている。
暮らしに楽しみがある、ご利用対象者が前向きに元気になっている。
- ・目標値の設定：指標3の目標値が高かった。

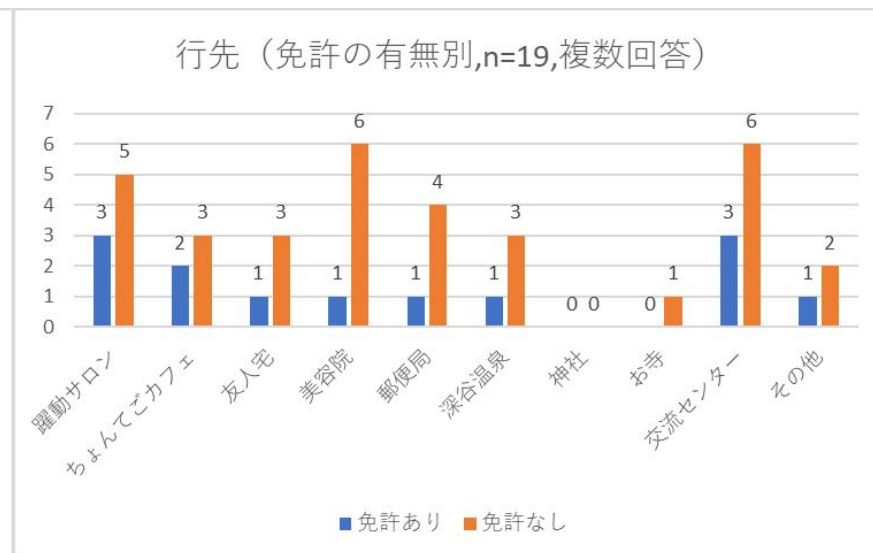
【アウトカム3の成功要因と課題】

- ・もともと人が集まる場づくりを鍋山で実施しており(ちょんてごカフェや躍動サロンなど)、対象者の利用の目的を地区内で作ってきたこと。
- ・行先、時間に限定が無いこと。頼みやすい環境づくりをしてきたこと。
- ・相談を聞ける距離に躍動鍋山の職員がいること。
- ・移動に寄り添うことができるように体制構築をしてきたため、実現できている。他の組織等で人数が少ないところは他事業業務があり、臨機応変な対応が難しいところもあるのではないか。
- ・中山間地域の移動支援事業は黒字化は困難なため、専属の職員がいればよいということではない。他事業との連携もできるように工夫することが必要。

【グラフ11】



【グラフ12】



(1)短期アウトカムの計画と実績

アウトカム4	アウトプット4により、他地区でも有償運送の検討が始まり、新しい仕組みづくりに関する行政の検討が始まっている状態になる。		
指標	初期値	目標値	アウトカムの発言状況(実績値)
市役所・移動に課題を感じている地域 自主組織15地区で検討が始まっている・話す場ができています	0地区	7地区	<p>実証：1地区(民谷) ①検討：2地区(日登、幡屋) ②視察：全30の地域自主組織の会合で会長より本事業に関する発表を実施。</p> <p>雲南市は令和8年度から福祉と連携した運送事業でよりそい号に事業の委託を予定している。また、今後の可能性として、雲南市のデマンドタクシー事業の鍋山路線(1日2便)を労協うんなんで引き受けることがある。</p> <p>また、雲南市の自主組織会長会議では公共交通・移動支援についての議論がなされている。本事業について、初年度約200名であった利用者が2年度目に約2倍になり、協議会メンバーも驚いていた。各地域での関心が一層高まっている。</p>

(1) 短期アウトカムの計画と実績

【アウトカム4の価値判断】

実際に有償運送の検討に入った地区の数は目標を下回ったが、躍動鍋山で無理なくしうる他地区への情報提供は実施していたこと、ことの性質上他の地区の主体的判断に委ねる他ないこと、および鍋山地区内でのアウトカムを優先すべきであることから、成果が出ていないというよりも、目標値の設定が高すぎたと評価する。

【アウトカム4の成功要因と課題】

課題には他の地区における課題と、政策上の課題がある(市役所からのヒアリング)。

まず他の地区において有償運送を検討するうえで、運営体制が課題との声がある。躍動鍋山のように日常業務から多くのスタッフで多数の事業を運営している組織でないと、他の仕事と有償運行を柔軟に組み合わせて採算を取るということが難しいが、そのような体制を備えている地区が少ない。

政策については、市としても「本来はタクシーが十分供給され、その補完としてなら有償運送が機能するが、今の状況だと有償運送に負荷がかかりすぎてしまう」と懸念している。同時に、タクシー事業者への配慮により有償運送には様々な制約が課さざるをえない状況がある。これらを突破するために必要な政策上の方針が示せていないため、有償運送を広める機運が醸成されていない。

追加アウトカム	自団体の変化
指標	自団体の変化について振り返り、情報整理ができています

変化について: スタッフの視野が広がった。見えない方のことも見えるようになった(サロンに参加されない方の情報を得て訪問することができた)。また、振り返ることで見守りの体制作りの検討をするきっかけになった。
事業に係る費用や体制等について: 利用者 150人で車2台が適当。利用予約が被ることもあり、時間帯によって利用者に待ってもらうことも発生している。人員は、他事業兼務のスタッフがいるため、窓口や急な運転依頼への対応ができています。保険代は1台15万円(なお、福祉事業の保険は30~40万円程度)

【追加アウトカムの価値判断】

自団体の変化、また事業実施に係る体制や費用等について、整理ができています。

(2)アウトカム達成度についての評価

事業の短期アウトカムの評価

- 短期アウトカムの目標値を上回って達成できている
- 短期アウトカムの目標値を達成できている
- 短期アウトカムの目標値はおおむね達成できている
- 短期アウトカムの目標値は達成できなかったと自己評価する

<上記のように評価した理由>

- 目標値を達成しており、質的な成果も生まれている。
- 事業対象者の声からも好評であり、利用度も多い。
- この事業によって新たな繋がりが生まれ、さらに広がった
移動に困難を抱える当事者の送迎ができればそれで当事者が助かり、交流が生まれたり出かけることで元気になると思っていたが、それだけではない想定外の広がりがあった

7-2 波及効果

- 想定外の利用目的
 - 友人同士の行き来が想定よりも多かった
 - 姉妹の行き来があった(お見舞い)
 - お香典を持っていく
- 繋がりづくりができています
 - よりそい号があったからこそ、サロン利用に繋がった
 - よりそい号があったからこそ、はじめて地域の人と繋がった
 - 戸別訪問に行くと、高齢者さんが「あなたと話をするとう元気になるよ」とたくさん話をしてくださる。個々人との密なコミュニケーションが、移動のみならず困ったときなどに「あの人に相談しよう」ということに繋がっている。
- 地域の情報
 - よりそい号利用者から「地域で気になっている高齢者がいるのだけれど…」という声を拾い、職員が訪問
- 地域の人との協働の機会
 - 地域事業者から事業対象者に積極的にご紹介いただいた



7-3 出口戦略・事業の持続に向けた戦略の成果

(1) 助成期間中の出口戦略・事業の持続化に向けた戦略の達成状況について

① 出口戦略の達成状況：公共交通の関心度は市長や市議でも高く、4名の市議から一般質問があり、第三次雲南市総合計画案の中にも重点テーマとして「地域の移動・交通システムの再構築」として挙げられている（2025年2月現在）。2025年度に雲南市地域公共交通網形成計画の見直しがあり、2026年度に福祉と連携した移動支援事業の実施に向けて動き出している。

② 出口戦略の実現に最も影響を与えた要因：雲南市公共交通協議会や公共交通課へ利用実績や利用者の声を届けることで、「市民が移動手段に困っている」という事実を伝えた

(2) 助成終了後の事業の実施見込みについて

① 助成終了後の事業規模の見込み：助成開始前と比べ拡大、助成時と比べほぼ同程度

② 助成終了後の活動内容の見込み：活動内容に変更なし

③ 資金調達状況

・資金はどのような調達ができているか：自主事業及び利用料収入

・資金を調達できた最も大きな要因：自主事業があるため

④ 人材確保状況

・活動を継続していく上で、人材は確保できているか：できている

・人材を確保できた最も大きな要因：地域住民への声掛け

7-3 事業の効率性

- 投入された人、物、資金が、対象とする受益者や地域の環境整備に資するために使われているか
 - 移動支援に必要な環境整備のために活用している
- 投入された人、物、資金が、社会課題の解決に結びつくアウトプット・アウトカムの実現に使われているか
 - 対象者の地区内移動の課題解決により暮らしやすさが高まった
 - 対象者の人や外出機会との繋がりをつくり、暮らしの楽しみが増える状態が高まった
- 経費の妥当性(社会通念上妥当な経費であり、特に単価が高額な場合は、同等のものと比較して妥当な範囲であるか)
 - 単価は高額ではなく、車両は中古車を購入。経費は社会通念上妥当である。
- 当初計画に沿って、自己資金、民間資金を適切に確保することが出来たか。(自己資金の一環として受益者に一定の自己負担を徴収する場合には、受益者負担額が通常の価格水準に比べて適切な水準に設定されていたかどうかを合わせて検証)
 - 自己資金は計画通り確保することができた。
 - 対象者の利用料は雲南市のデマンド型乗合タクシーと同額の 300円であり、負担額は行政と同水準である。

8 成功要因・課題

特に社会課題解決に貢献したアウトカム

【アウトカム1】

【成功要因】

第1に、躍動鍋山が20年以上にわたり地区の住民に寄り添った課題解決事業を実施してきたことにより、住民の課題状況の把握度が高く、対象者の本当の課題と必要としている対策に確信を持っていたことが大きい。

第2に、本事業の周知において、職員が直接対象者を含む住民と日頃から密にコミュニケーションを取り関係構築をするという役割にあるため、本事業の周知を既存事業のルートで実施することが可能であり、またそれによって住民から信頼をもって受け止められたと考えられる。

第3に、躍動鍋山がサロンやちょんてごカフェといった人が集まる場づくり事業を長年実施してきたことにより、それらを行き先とする外出目的を作り出せるという相乗効果も重要である。

第4に、躍動鍋山が他の地域自主組織と比べてかなり多数の事業を行ってきたことから比較的多数の職員の確保が可能であり、そのなかで臨機応変に時間配分をすることで本事業の運行が可能となった。

9 結論

9-1 自己評価

	多くの改善の余地がある	想定した水準までに少し改善点がある	想定した水準にあるが一部改善点がある	想定した水準にある	想定した水準以上にある
(1) 課題やニーズの適切性					○
(2) 事業設計の整合性				○	
(3) 実施状況の適切性					○
(4) 事業成果の達成度					○

9-2 自己評価の判断根拠について

事業開始前から、移動に困難を抱えている対象者の声を拾い計画、実施してきた。また、65歳以上の高齢者の外出機会が減ることで、心身ともに元気がなくなっている地域住民に出会うこともあった。

本事業では移動支援や移動先での活動を通じて生活の楽しみが増え、それにより対象者が元気になることを成果目標と設定した。具体的な事業の成果事例としては、事業を通じて交友関係が新たに生まれたり、もともとの関係性が深まったり、姉妹が各々の結婚を機に会うことがなくなったが関係が深まることがあった。また、アンケート調査からも外出機会の増加や精神面、身体面でも良い変化が起こっていることが分かった。

また、本事業を他地区への知見として市内の全ての自主組織に説明や報告をしたり、3地区でも導入について実証や検討がなされ、少しずつではあるが今後中山間地域の移動支援についての改善がなされる兆しが見えてきている。

10 本事業で取り扱った活動を発展させるための提言

今後も地域で社会課題解決のための取り組みを継続的に進めていくうえで、自団体は鍋山地区内において引き続き移動支援及び人や機会との繋がりをつくっていく。また、市内の他地区で移動支援を実施する地域自主組織や市外で高齢者の移動支援を実施する団体等へのアドバイスや学びの共有を継続していく。

雲南市公共交通協議会との情報共有や意見交換は2006年から年3～4回程度実施しており、65歳以上の高齢者の移動支援に関しては、福祉との連携で実施していく予定である。その鍋山地区のモデルを他地区の実情に合わせながら展開していけると、市内全域で近所の「ちょっとした移動」に利用することができ、人との繋がりや外出の機会を維持し続け、それによって社会的健康の維持をすることができるのではないかと考える。

地域や関係者との連携強化のためには、現状と課題の共有、課題解決・改善までの道筋について各地域にあった手段の検討をする時間が必要である。現状として、担い手候補事業者が既存事業に加えて新たに移動支援事業を実施できる体制なのか、福祉事業と連携することで体制や資金に課題が残らないか等の事前情報の整理と、実施までのハードルは何か、またそれらのハードルを越えて移動支援を実施することで、どのようなアウトカムを達成するのかの共通認識を持つことが必要であると考える。

11 事業からの学び・知見・教訓

- アンケート調査実施の工夫と学び
 - 独居高齢者はアンケート回答が困難な方もいるため、担当者が戸別訪問をして聞き取りながら実施した。
 - アンケート設問は回答に迷う聞き方があったため、改善が必要である

(例)よりそい号の実際の利用が無くても、暮らしやすくなったと感じることはある、友人がよりそい号を利用しサロンに参加することでよりそい号を利用していない人にも友人に会える楽しみが増えている など

- 事後評価時に設定したアウトカム評価を行ったことで得た学び

移動支援だけを実施をするのではなく、繋がりづくりと並行して実施する

- 中山間の交通空白地では、全国各地で同様の課題を抱えている。現在ライドシェア等の制度緩和などもあるが、サービスがあっても孤立状態にある対象者に情報が届かない場合もある。人との繋がりが薄くなっていて生活の楽しみが無いと感じている人へのアウトリーチは必要不可欠であるため、移動手段の確保の方法は様々あるが、地域の地縁団体や近隣住民からの対象者への声かけや見守りを通じて実施していくことが、孤立せず人との繋がりがあ地域をつくる移動支援の形になるのではないか。
- 実行団体から見て資金分配団体の伴走支援で一番役立ったことは何か

資金提供団体の皆様には、毎月の定例会への参加や都度の相談にも気軽に対応していただき、また事業運営上の課題解決や資金の有効活用など、逐次適切な助言をいただきました。実行団体としましては、大変心強く感じ、安心して事業運営を行うことができました。3か年の長きに渡り伴走支援をいただき、本当に助かりました。おかげ様で当初の目的を十分に発揮することができましたこと、心より感謝申し上げます。

12 資料(別添)

- アンケートに使用した調査票
- アンケート調査結果
- 利用者の声